



2015-2016 May. **5**

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2640

国際ロータリー第2640地区 ガバナー 辻 秀和



2015～2016年度 国際ロータリー第2640地区

第34回 RYLA研修セミナー 平成28年4月29日(金)～30日(土) 於 河内長野市立滝畑ふるさと文化財の森センター

5月は「青少年奉仕月間」です

地区テーマ

超我の奉仕



国際ロータリー第 2640 地区 ガバナー事務所

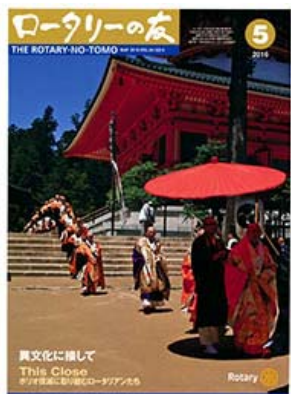
〒586-0017 河内長野市古野町 7-42 2F

TEL : 0721-55-2640 FAX : 0721-55-2641

E-mail : hidekazu-2640@pure.ocn.ne.jp

URL : <http://www.rid2640g.com>


ロータリーの友 2016年5月号



<http://www.rotary.or.jp/>



<http://www.facebook.com/RotaryJapan>

Rotary  ロータリー国際大会



2016年5月28日~6月1日
韓国・ソウル

<http://www.riconvention.org/ja/seoul/register>

第 2640 地区ジャパンナイト

5月28日(土) 19:00~ ハヌソ(会賢店)



熊本・大分地震で被災された皆様へ 心から御見舞い申し上げます。

目次

5月のR I 会長メッセージ	R I 会長 K. R. ラビンドラン	1
5月のガバナーメッセージ	ガバナー 辻 秀和	2
はじめての台湾	地区インターアクト委員長 近藤 本 淳	3
青少年奉仕月間に寄せて	地区青少年交換委員長 北中 登 一	4
青少年奉仕について	地区青少年・ライラ委員長 原 靖 治	5
国際奉仕委員長会議の報告	地区国際奉仕委員長 道本 雅 秀	6
第34回RYLA研修セミナーの報告		7
2018年-2019年度 地区ガバナーノミニー確定宣言		8
青少年奉仕月間 リソースのご案内		9
新入会員の紹介・訃報		10
地区会員数・出席報告	2016年3月	11
行事予定	2016年5月 ~ 6月	12

ロータリーの物語は
書き換えられなければならない

RI会長 ラビンドラン

親愛なるロータリアンの皆さん、親愛なるロータリアンの皆さん、数年前、善意ある開発援助機関が、ケニアのカノ平原のある地域社会で水供給の改善事業を引き受けました。実行委員会が結成され、会議が開かれ、地元の人からも意見を聞きました。そして、灌漑と家畜用の水供給システムを改善するという主なニーズが特定されました。地元の代表者が望む通りに、このニーズに取り組む計画を立て、すぐに作業が始まりました。



しかし、工事が始まると、地元の女性グループが即座に反対の声を上げ、水の迂回路を造ろうとする作業員の前に立ちはだかりました。さらなる調査の結果、農業用に迂回させようとした水は、何世帯もが飲料水や生活水として使う唯一の水源だったということがわかりました。開発プロジェクトは一からやり直しとなりました。

なぜこんなことが起きたのでしょうか。それは地域住民を代表するグループがすべて男性で、誰一人として女性の声を聞かなかったからです。計画のどの段階でも、男性たちは地域の事情とニーズをよく知り、地域を代弁し、地域を代表できると決めてかかっていました。これが実情とはほど遠いということは明らかです。地域のニーズとリソースをよく理解していたのは女性たちでしたが、彼女らの意見を求められることはありませんでした。

ロータリーに女性が入会するようになったのはわずか30年ほど前のことですが、それ以来、ロータリーが最も生産的な状態であることは偶然ではありません。1995年当時、女性会員は20人に1人にすぎませんでした。今では5人に1人(*)の割合です。進歩していますが、まだ十分ではありません。私たちが地域の代表になりたいと考えるなら、その地域の状況を反映させなくてはならないというのが常識です。そして、地域のために十分に奉仕したいのなら、ロータリーに地域の実情を十分に取り入れなければならないのです。

男女平等に関するロータリーの方針は非常に明確です。しかしながら、ほぼ5分の1(**)のクラブは女性の入会を今も拒み続けています。会員となるのにふさわしい女性が見つからないと言うのです。そう論じるロータリアンに対して、私はこう申し上げるでしょう。その方こそ、ロータリアンに求められる最も基本的な2つの資質、すなわち「誠実さ」と「良識」が欠けている、と。

女性への門戸を閉ざすクラブは、持ちうる才能、能力、人脈の半分以上を見逃しています。地域社会や人々への奉仕に欠かせない、全体像を失っているのです。私たちの可能性を限定するような固定概念に固執すれば、奉仕活動だけでなく組織全体がダメージを受けるでしょう。またパートナー団体が私たちを真剣にとらえることはなくなり、入会見込者にとっては魅力のない団体と映るに違いありません。特にロータリーの未来に欠かせない若い層を失うこととなります。



K. R. RAVINDRAN
PRESIDENT, ROTARY
INTERNATIONAL

国際ロータリー第2640地区
ガバナー 辻 秀和



皆さま、こんにちは、5月は青少年奉仕月間です。

RI2640地区では、先の和歌山での地区大会に続き、4月24日の地区研修・協議会も盛況のうちが無事終えることができました。地区全体は、ここ数カ月の間で、みるみるうちに本来

のロータリー姿を取り戻しつつあります。

私は、RI2640地区の活動が、和気あいあいと楽しく、有意義なうちに執り行われていく状況の中、すべてに心から感謝するとともに、「ロータリーの友情」をやっと取り戻すことが叶い、その喜びに満ち溢れております。

すべては、ロータリー歴や在籍年数に関わらず、老若男女を問わず多くのロータリアンたちが、思慮深く熱意と真心を持って、まさに「超我の奉仕」の精神にて、額に汗を流して取り組んでいただいたお陰様です。私たちは、地区が再生されたからと言って、このことを決して忘れてはなりません。又、ロータリアンとして「誠実さ」と「良識」を今後ともに欠如することなく、「誇り」をもって奉仕活動を継続してゆかなければなりません。

“温故知新”すなわち過去の出来事を十二分に熟知して、そこから新しいものを見つけ出す。今私は、感慨無量、まさに『感無量!!』の境地です。

私は、DGとして常日頃から当地区内の皆さまに、次のことを推奨しています。それは、自身がなにがしかのお陰をもって、得ることのできたもの、すなわち新しい知識、技能、体験や経験など、それを自身のみだけの「宝物」としないで、地域社会や世界のために駆使していただきたいと願っています。

まずは、自身の身の回りから、地域社会においてそれを実践していただくことが肝心と考えています。簡単なことと思われかもしれませんが、なかなか難しいことです。私は、自身の体験・経験の教訓からこれを強力に推奨しています。

*19歳～22歳 学生時代 4年間の夏休み
韓国ライ病患者社会復帰村 労働奉仕活動
と現存日本人開拓村の調査

*23歳～25歳 3年間 JOCV 青年海外協力隊農業土木 マレーシア国 現地灌漑排水局配属
国産米による時給自足の国策に協力活動

*マレーシアでの教訓

①生活環境 語学の壁、欧米人の英語力と日本人の現地語（マレー語）の差、文化と人種の壁（欧米人とアジア人）東洋人同士の誼
②職場環境 エンジニアの地位 一室を提供されるテクニシャン数名、農学士、測量士チーム、ドライバー付き、事務方など、日本との差（弁護士・医者・技術者 同格扱い）

③国情 当時、国産エンジニア未無 海外の大学を卒業したエンジニアが活躍 特殊業種赴任3年後の帰国時マレー大学卒業初の国産エンジニア誕生、赴任する

④状況 開発途上国共通の事情 自身の特技・発明は「宝物」他に容易な伝授無し 自身の糧。身分保障 家族の生活保障
ポイント：これらの自己中心的意識が、その国の技術の向上や国の発展を阻害している

⑤世界的見地 以上のことは、世界中共通の出来事です。克服しなければならないことは、
*自己中心に考えるということを個人の尊厳だなどと教えない。

*自分の肉体というものは人類全体の肉体であるべきである。

*理論ではなく、感情的にそう思えるようになることが大事。

（***「人間の建設」岡潔 著作より）

⑥素晴らしい事例

山中 伸弥 博士（やまなか しんや 昭和37年9月4日生）は、iPS細胞をどこの国の研究者でも使えるよう公開しています。大阪府枚岡市（現・東大阪市）出身の日本の医学者。京都大学 iPS細胞研究所所長・教授、日本学士院会員。学位は博士（医学）。その他称号としては京都市名誉市民、東大阪市名誉市民など。文化勲章受章者。「成熟細胞が初期化され多能性をもつことの発見」により2012年のノーベル生理学・医学賞をジョン・ガードンと共同受賞した。

山中博士のような事例はとて有難いことです。世界の人々にとっては感謝!!感謝!!です。とてもさわやかな気分になります。

はじめての台湾

地区インターアクト委員会
委員長 近藤 本 淳

2015 年末 12 月 25
日から 28 日まで
2640 地区インターア
クトクラブの海外研
修に同行して台湾に
おじゃました。イン
ターアクト委員長を
拝命しながら実は初
めての海外研修への



同行であった。結論から言うと言ってよか
った。非常に充実した4日間だったからだ。
台湾というか台湾人にはじめて会ったのが
金美齢さんだった。今から16年前、青年会
議所のフォーラムでゲストスピーカーをお
願いしたことがきっかけだった。



今もよくテレビでお見かけするが、日本
人になったこと以外当時とほとんどお変わ
りなく素敵なお方である。当時、縁あって仲
間たちと一緒に新宿（当時）のご自宅に招
待された。今は亡き夫君周英明氏とともに
暖かく出迎えてくださった。その日の夕食
はあの鼎泰豊（ディンタイフォン）から料
理人と共に小籠包の出前である！初めて食
べた、やけどするほどの肉汁の入った小籠
包は格別においしかった。「今日はすごいお
友達がくるわよ」と笑いながらおっしゃる
ので期待していると、小林よしのりさん、
屋山太郎さん、櫻井よしこさんといったそ
うそうたるメンバーのお越しである。

はじめは緊張していたが紹興酒の酔いも

まわって和気藹々の宴席となった。金美齢
さんはよくパスポートの話をされる。ご自
身が台湾国籍の時不自由な目にあつた体験
から日本人のパスポートがいかに信頼度の
高いものかということ。

それは『日本人「個人」が信頼されてい
るのではなく「公の日本」国民として信頼
されているから。人間はどの時代のどの国
のどの人種のどういう家庭に生まれるかを
自らの意思では決められない。どういう両
親のもとに生まれてくるのかは運命である。
では日本人は、日本人として生まれてきた
ことをどう受け止めて、どう背負っていく
か、どう前向きに生きていくか。今の若い
日本人はこれを教えられていないし、大人
も教えようとしていない。日本の教師の少
なくない人が教え子に国家を歌わせず、国
旗を焼いたり排除したりすることが民主
的・進歩的な行為なのだと教えてきたよう
だ。日本人として生まれた意味、引き受け
ざるを得ない宿命、自分の国をどう見るか
と云う事に確信を持たねばならない。大東
亜戦争も反省すればいいのだが、自信を失
うほどになってしまった。歴史には光と影
がある。何が光で何が影かをしっかり捉え
ていかなければいけない。今の日本は平和
を愛し、民主、自由を実践している秩序正
しい立派な近代国家。こういう国がリーダ
ーにならなくてはならない。このアジア地
域ではその資格をもつのは日本以外にはな
い。』16年前の話である。

これはそのまま今の青少年に聞かせても
通用するような内容ではないか。今年から
満18歳になると選挙権が与えられる。高校
在学中の生徒もいる。すなわちインターア
クトクラブメンバーも含まれる。現時点で
の対応は進んでいるのだろうか？誇りある
日本国民として、自分の考えで正しい選択
をできる機会にしたいものである。

青少年奉仕月間に寄せて

地区青少年交換委員会
委員長 北中登一
(PG)

私の恩師「加藤正彦氏」が「学生の留学」について次のように述べている。

最近「海外への留学」という言葉も、ごく普通の言葉となった。30年ほど前、社会全体



に国際化の波が押し寄せた当時は、学校現場でも国際理解教育が謳われ、その具体的実践としてのこの言葉は、とても新鮮に響いたものである。1988年に海外での高等学校の履修が日本の高校での単位として認められ、留学した場合、それまでは4年で高校卒業となっていたのが3年で卒業できるようになってから、留学する学生数は飛躍的に伸びた。当時は留学する学生を送り出す側の挨拶に『君たち一人一人が日本の国の代表なのだということを忘れないように』という言葉が多く聞かれたが、今はそんな言葉もあまり聞かれなくなった。「将来を担う若人が国境を越えて交流し、相互理解に務め、文化の違いを体験しつつ、その違いを認め合い、相互に学びあい、高め合い、ともにこの地球で生きて行くことによって、世界の平和を実現していく」…等々の理念は、もう当然のこととなったからか、逆に人々の意識の表になくなってきつつある。

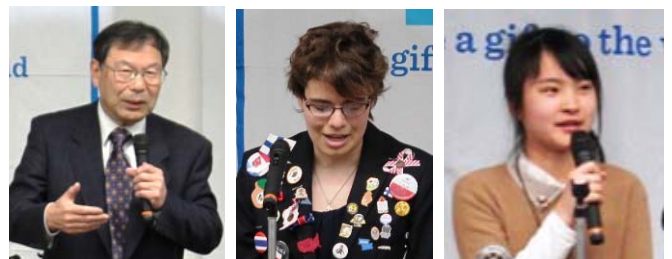
しかし、無知から生じる偏見や差別感の払拭は、まず相手を知る事から始まることを思えば、始めは何も大きな目的理念を意識せずとも、その国の人々はどんな考えを

持っているのかに興味さえあればよいのではないか。

あのユネスコ憲章前文の『…since wars begin in the minds of men, it is in the minds of men that the defenses of peace must be constructed』『戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和の砦を築かなければならない』という文はあまりにも有名だが、その後続く文はあまり知られていないのでここに上げる。『ignorance of each other's ways and lives has been a common cause, throughout the history of mankind, of that suspicion and mistrust between the people of the war…』『相互の風習と生活を知らないことは、人類の歴史を通じて世界の諸人民の間に疑惑と不信を起こした共通の原因があり、この疑惑と不信のために諸人民の不一致があまりにもしばしば戦争になった』

学生たちが海外に出掛け、そこでの草の根の交流によって無知から来る不信を取り除き、その国の人々の想いや風習を理解し始めた時、まさしく『心の中に平和の砦』を築き始めたことになるのであろう。以上の観点から、ロータリー青少年交換事業は、これからも続けていかなければならない。やり甲斐のある奉仕活動であろう。

青少年交換委員長会議の写真



青少年奉仕について

地区青少年・ライラ委員会
委員長 原 靖 治

ロータリーの皆様、初めまして。私はロータリー歴が約5年を経過し、1971年に生まれました、いわゆる団塊の世代の子供にあたる世代です。



世の中では、私の生まれた世代を「ロストジェネレーション (失われた世代)」とかいうカッコのよいネーミングをつけていただいております。

家族には、妻、長男（3歳）、長女（0歳、生後3か月）がいます。まさに、これから子育てをしていかなければならず、子供の幸せ、将来のことを思いますと、非常に気負います。そんな未熟な私が「青少年奉仕」ということで、ロータリー活動において、青少年とどのように接するかというテーマをもって、ロータリアンの皆様に私の思いを吐露することについて、躊躇を覚えておりますが、よろしくお願いたします。

いわゆる青少年は、社会にデビューする一歩手前、及び社会にデビューして間もない人々のことを指すと思いますが、青少年の方々は、まさに現在に生き、私も含め、ロータリーの皆様も過去にその時代を過ごされていたことは、間違いのない事実であります。青少年期を過ごす時代は、社会に出るまでの「人格形成」に多大な影響を及ぼすということは、一般によく言われることです。私自身、自分自身のことにおきかえて、そのことについて考えてみますと、あのとき過ごした時間の経過が前提で、今現在における私のキャラクターの基礎になっているということをお話

しても、今ひとつピンと来ないというのが私自身の本音ではありますが（その後の、社会に出てからの苦労が大変だった）、私自身の経験を踏まえて、青少年期は、自分自身の色々な可能性を想像できた半面、これから出ていく社会に対しての視野が非常に狭かったと思います。青少年期は、親権に復し、教育を受ける義務が法律のたてつけで決められているので、家庭での教育、学校教育が中心になるのは当然の帰結であろうとは思いますが。隣国である韓国のように、徴兵制度が定められていけば、また違った形になるとは思いますが。

日本は、資源のない国です。人材が社会資源で日本の繁栄を支えているというのはよく言われることです。国家が人をもののように捉えるのは、反発もありますが、日本に生きる私たちとしては、現実として受け入れなければなりません。そして現在において、人材サービスである「おもてなし」という我々日本人にとって得体の知れない精神が、なぜか外国の人に対しては受けています。

日本の国家を支える社会資源である、人材の育成に関し、ロータリーの社会経験上の多様性をもって奉仕活動を行うことは非常に意義深いことと思っております。

子どもを二人ももうけてしまって、経済的なことも含めてどうしようという不安を他人に口にすると、「大丈夫、大丈夫、子供なんてものは、勝手に大きくなっていきよる」という楽観的なことを言われることが多いのですが、社会が子供を育てるといふ雰囲気作りが、今ある社会問題の少子化を解決する一要因ではないかと思っております。

追伸、皆様のお陰をもって、ライラセミナーは無事終了いたしました。ライラ委員会の皆様、及びその他関係者の皆様に対し、重ねて御礼申し上げます。ありがとうございました。

国際奉仕委員長会議の報告

地区国際奉仕委員会
委員長 道本 雅 秀

今期、国際奉仕委員長を仰せつかりました道本です。皆様方の平素からのご理解とご協力に感謝いたします。

第4奉仕部門である国際奉仕とはいかなる奉仕なのか、といつも自問自答してきました。様々なロータリー活動に参加したり、ホームクラブの例会や他のクラブのメイキャップに参加しているだけでは、なかなか『国際奉仕』にはたどり着かない気がします。しかしながら、本来はもっと近くに国際奉仕は存在しています。考えてあげたり、理解してあげたり、書物やネット等の媒体によって、世界を知り、なんらかの希望や要望に応える活動に参加することで、十分に国際奉仕は成し得ると思いました。

米山の学生さんや長期交換の留学生の皆さんをお預かりするのも立派な国際奉仕ですが、もっとも大切なことは、理解をしてあげる、理解を深めることではないでしょうか？私のFacebookのお友達の三分の一はたまたまですが海外の方たちです。お友達のレベルで対等に色々な会話を楽しんでいるだけで、とても喜んでいただけるのです。それって、もしかすると国際奉仕ができているのかも、と喜んでしまう時があります。

今回の国際奉仕委員長会議は、4月24日、アゴラ堺におきまして、開催をさせていただきました。



基調講演には、河内長野市国際交流協会副理事の柴理梨亜様においでいただきました。

彼女は、アルゼンチン共和国、ブエノスアイレス市生まれ。ブエノスアイレス国立大学卒業後、日本に留学され、1982年に再度来日、1988年より河内長野市に在住。大学の講師を務めながら、

河内長野市国際交流協会の設立発起人の1人として参加し、学生の頃に学んだ英語、フランス語やイタリア語と母国語のスペイン語を通じて、様々な国々との交流や多文化共生社会の実現に向けて活動している、とても国際的な方です。講演の一部をご紹介します。

- ・奉仕しているという気持ちがなく交流中心に考えています。
- ・してあげるのではなく交流で同じ立場に立って、生活等を見直す。
- ・日本にもしょうゆを隣で貸借りしていた時代があった。その気持ちが大切。
- ・例えば留学生に寝るとこ・食べ物を提供しているだけでなく、我々が学ぶところがあるでしょ？
- ・全ての活動も、最終目的は世界平和では？
- ・小さいころから世界のお友達をいっぱい作れば、????ちゃんの国の心配、という人間になるから。
- ・習慣の違いでは、例えばプレゼント。日本では人前で開けないけど、世界ではその場で開けるのが普通。
- ・日本では引っ越してきた人が挨拶して当たり前だが、たいてい外国人は、周りが挨拶に先に行く。
- ・ロータリーにおいては、世界平和を少しずつ達成に近づくように、小さいところから続けてあげて。
- ・アルゼンチンでは、1週間は週末のためにあり、それ自体が楽しみで、サービスしないといけないとは思わない。

等の面白いお話でした。講演後の意見交換会も、ロータリーの友にも掲載されていない素晴らしいお話もたくさんお聞きしました。皆様、大変お忙しい、しかも世間が桜満開のうきうきした季節の日曜日のお昼間にもかかわらず、多数お運びをいただきました事、本当に感謝につきません。お花見例会までキャンセルしておいでくださったクラブもありました。しかしながら、今日は来てよかったよ、とお声がけいただき、報われました。紙面をお借りして、心より御礼申し上げます。



地区活動報告

第34回RYLA研修セミナーの報告

4月29日～30日、河内長野市立滝畑ふるさと文化財の森センターで、第34回RYLA研修セミナーを開催いたしました。





ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2640

2015-2016 年度
ガバナー

辻 秀和

HIDEKAZU TSUJI

2015-2016 年度ガバナー事務所

〒586-0017 大阪府河内長野市古野町 7-42 2F
TEL 0721-55-2640 FAX 0721-55-2641
E-mail hidekazu-2640@pure.ocn.ne.jp

2015-2016 DG OFFICE

7-42.2F FURUNO-CHO KAWACHINAGANO CITY,
OSAKA, JAPAN 586-0017
TEL +81-721-55-2640 FAX +81-721-55-2641
E-mail hidekazu-2640@pure.ocn.ne.jp

2018-2019 年度 国際ロータリー第 2640 地区

ガバナーノミニー確定宣言

RI 細則 13.030. 13.030.1. に従い、2018-2019 年度ガバナーノミニー候補者推薦について、2016 年 3 月 22 日に地区内クラブへ通知し、2016 年 4 月 25 日に締め切りいたしました。期日までに 1 クラブより推薦がありました。クラブから推薦された候補者が 1 名のみの場合には投票を要しないものとし、その候補者をガバナーノミニーとして公表するものとします。以上から、和歌山ロータリークラブ 樫畑直尚氏を国際ロータリー第 2640 地区 2018-2019 年度ガバナー候補者とすることに確定いたしましたので、ここに宣言いたします。

2016 年 4 月 26 日

国際ロータリー第 2640 地区
ガバナー 辻 秀和



- ガバナー就任年度 : 2018-2019 年度
- 氏 名 : 樫畑 直尚 (かしはた なおひさ)
- 所属クラブ : 和歌山ロータリークラブ
- 生年月日 : 1957 年 5 月 10 日
- 職業分類 : 不動産管理
- ロータリー略歴 :
 - ・ 1998 年 4 月 和歌山ロータリークラブ入会
 - ・ 和歌山ロータリークラブにて
SAA・各種委員会委員長
各種理事・幹事
2011-2012 年度和歌山ロータリークラブ会長を歴任
 - ・ 第 2640 地区にて
2014-2015 年度ロータリー財団補助金小委員会委員
2015-2016 年度地区大会実行委員会委員長

青少年奉仕月間 リソースのご案内

<Web ページ>

ロータリーの青少年プログラム名をクリックいただくと、関連ページをご覧いただけます。

- [ローターアクト](#)
- [インターアクト](#)
- [ロータリー青少年交換](#)
- [ロータリー青少年指導者養成プログラム](#)

<映像資料>

オンライン版のみになります。映像名をクリックし、再生ボタンを押していただくか、ダウンロードという箇所から保存してご利用願います。

- [ロータリーで学んだこと](#)
元ロータリー財団奨学生であり現会員であるリバスさんが、奉仕を通じて得られたことについて語ります。 [1分 10秒]
- [若い職業人のためのロータリーサミット](#)
ロータリアンとローターアクターが集い、若い職業人にロータリーの魅力を感じてもらう方法について、自らの経験を交えながらアイデアを交換しました。 [2分 10秒]
- [インターアクト](#)
インターアクトクラブの紹介と魅力をお伝えする動画です。 [1分 15秒]

<ウェブ掲載記事>

タイトルをクリックいただきますと、記事のページが開きます。

- [ロータリー青少年交換：一度だけの人生、大胆にいこう！](#) (2015年9月)
青少年交換にホストファミリーとして協力したロータリアンやホストクラブ、交換学生の体験談です。
- [ビジネスリーダー養成キャンプ・プロジェクト](#) (2014年12月)
職業奉仕の一環として行われている「明日のビジネスリーダー」を育成するための高校生向け養成キャンプの記事です。
- [BOYS' WEEK から今に続く青少年育成](#) (2014年9月)
ロータリーにおける青少年のための活動の歴史に関する記事です。

新入会員の紹介 2016年 3月入会



氏名 宮内 良平
ふりがな みやうち りょうへい
所属クラブ 関西国際空港RC
職業分類 LPガス販売他
生年月日 1948年2月21日
入会日 2016年3月1日



氏名 吉田 弘毅
ふりがな よしだ ひろたか
所属クラブ 和歌山RC
職業分類 観光事業
生年月日 1968年6月22日
入会日 2016年3月1日



氏名 中山 圭介
ふりがな なかやま けいすけ
所属クラブ 高石RC
職業分類 建築業
生年月日 1963年9月26日
入会日 2016年3月1日

新会員推薦者のための 認証プログラム



ロータリー会員増強への貢献に
感謝の気持ちを伝えるために

「新会員推薦者のための認証プログラム」は、新会員の勧誘に貢献した会員を称えるために、国際ロータリー理事会が承認した新しいプログラムです。これにより、2013年7月1日以降にロータリーに入会した新会員の推薦者に、認証ピンと裏当てが増呈されます。裏当てには、推薦した新会員の人数に応じて異なる色が使用されます。新会員を1人推薦した正会員には、標ピンのほかにブルーの裏当てが増呈され、推薦した新会員の数が増えるにつれて、違う色の裏当てが増えられます。

2016年 1月入会



氏名 乾 一嗣
ふりがな いぬい かずし
所属クラブ 堺フェニックスRC
職業分類 防火管理
生年月日
入会日 2016年3月



氏名 生田 耕三
ふりがな いくた こうぞう
所属クラブ
職業分類 高校教頭
生年月日
入会日 2016年3月



氏名 日比 なな
ふりがな ひび なな
所属クラブ 那智勝浦RC
職業分類 介護福祉
生年月日 1980年9月12日
入会日 2016年1月21日

ロータリーへようこそ!

より良い世界をめざして活動する120万人の会員から成るロータリーへようこそ。ロータリーの強さは、会員にあります。会員一人ひとりがクラブにもたらすスキル、経験、熱意が、それぞれの地域に、そして世界に変化をもたらします。会員が一体となれば、子どもたちを苦しめるポリオを世界からなくし、平和の担い手を育て、疾病、飢餓、識字、貧困といった問題も少しずつ解決できると私たちは信じています。交流を通じてアイデアを広げ、関心や社会奉仕への熱意を同じくする人たちと生涯にわたる友情を築く。それが、ロータリーのコミュニティです。クラブ、地区、国際ロータリーのリソースを最大限に活用し、積極的に参加してください。

はじめよう

クラブのプロジェクトや活動にすすんで参加すれば、ロータリーでの経験がさらに楽しく実り豊かなものとなるでしょう。

もっと多くのロータリアンと出会おう

ロータリーの世界的ネットワークを通じて、日本だけでなく、海外でも知り合いや友人をつくりながら、世界中の地域社会のための支援ネットワークを広げることができます。

【My ROTARY から、抜粋】

言 ト 幸 反

故人の功績を称え 謹んでお悔やみ申し上げます



つじもと まさと
辻本 真人 様
和歌山城南RC

2016年3月2日 逝去

在籍期間 9年7ヶ月
職業分類 内科
表 彰 PHF

第2640地区 会員数・出席報告 (2016年3月)

クラブ名	会員数		入会		退会		例会数	3月 出席率	平均 出席率	クラブ名	会員数		入会		退会		例会数	3月 出席率	平均 出席率
	15.7.1	3月末	3月	累計	3月	累計					15.7.1	3月末	3月	累計	3月	累計			
有田	24	27	0	4	0	1	4	86.50	87.14	那智勝浦	17	17	0	1	0	1	5	81.00	83.94
有田2000	17	16	0	0	0	1	5	100.00	96.24	堺利晶	21	17	1	11	0	11	4	93.70	91.30
有田南	31	31	0	0	0	0	4	91.23	88.96	大阪金剛	17	16	0	3	0	4	4	92.20	87.60
ワールド大阪	22	25	0	8	0	3	4	100.00	100.00	大阪狭山	10	11	0	1	0	1	4	90.90	96.00
Rotary E-Club Sunrise of Japan	18	21	0	4	0	1	5	100.00	100.00	りんくう泉佐野	17	17	0	0	0	0	4	85.94	88.22
御坊	44	43	0	0	0	1	4	78.44	78.59	堺	60	59	0	4	0	5	5	94.14	93.68
御坊東	16	17	0	1	0	0	5	69.41	79.97	堺東	29	27	0	0	0	2	4	95.12	94.13
御坊南	30	30	0	0	0	0	4	81.03	86.80	堺フラワー	38	31	0	0	0	7	4	95.60	91.60
羽曳野	13	15	0	2	0	0	4	95.00	94.30	堺泉ヶ丘	24	24	0	0	0	0	4	92.71	94.98
羽衣	15	15	0	0	0	0	4	93.30	88.44	堺中	20	22	0	2	0	0	4	80.68	78.33
橋本	50	53	0	3	0	0	3	97.33	92.49	堺北	31	31	0	0	0	0	4	76.60	83.76
岩出	26	26	0	0	0	0	4	89.43	88.67	堺おおいずみ	32	33	0	1	0	0	5	74.55	76.47
和泉	20	20	0	0	0	0	5	98.00	96.51	堺フェニックス	28	39	2		0		1	100.00	100.00
泉大津	40	42	0	2	0	0	4	89.89	86.53	堺清陵	18	23	0	5	0	0	4	95.24	92.57
泉佐野	27	28	0	1	0	0	4	87.30	93.69	堺南	14	13	0	0	0	1	3	92.31	92.55
和泉南	32	35	0	3	0	0	4	53.57	60.37	堺東南	11	12	0	1	0	0	5	81.82	87.12
海南	26	25	0	0	0	1	4	75.00	74.70	新宮	50	52	0	3	0	1	5	75.39	79.39
海南東	48	48	0	1	0	1	3	73.61	73.84	白浜	10	10	0	0	0	0	4	87.50	88.28
海南西	19	20	0	1	0	0	4	86.25	83.70	太子	13	14	0	2	0	1	3	92.90	83.30
貝塚	17	16	0	0	0	1	4	96.77	98.01	高石	24	28	1	4	0	0	4	67.33	70.94
貝塚コスモス	13	13	0	0	0	0	4	80.58	86.76	高師浜	14	15	0	2	0	1	4	91.67	88.07
関西国際空港	20	21	1	3	0	1	4	94.05	92.62	田辺	84	84	0	1	0	1	5	85.85	86.84
河内長野	20	19	0	1	1	2	4	85.00	85.60	田辺東	46	46	0	2	0	2	5	90.62	92.41
河内長野東	23	24	0	1	0	0	4	88.08	87.90	田辺はまゆう	44	43	0	0	1	1	4	79.27	80.02
河内長野高野街道	13	13	0	5	0	6	4	69.20	70.80	富田林	36	39	0	3	0	0	5	69.29	68.53
岸和田	29	28	0	0	0	1	4	85.75	85.68	富田林南	13	12	0	0	0	1	4	83.33	82.25
岸和田東	42	41	0	0	1	1	4	96.05	96.78	和歌山	63	63	1	4	3	4	5	84.98	79.94
岸和田南	8	11	0	3	0	0	4	79.55	85.14	和歌山アゼリア	33	33	0	1	0	1	3	81.11	84.24
粉河	18	17	0	0	0	1	4	100.00	97.97	和歌山東	41	42	0	4	1	3	5	81.24	79.79
高野山	15	17	0	2	0	0	4	89.50	83.45	和歌山城南	41	41	0	4	3	4	4	78.44	78.72
KUMATORI 向日葵	29	22	0	2	2	9	4	89.80	90.68	和歌山中	28	29	0	1	0	0	4	80.68	84.55
串本	11	11	0	0	0	0	5	74.55	71.82	和歌山北	31	33	0	4	0	2	3	78.22	78.91
松原	19	17	0	0	1	2	5	91.40	92.55	和歌山南	80	80	0	4	0	4	4	75.61	78.64
松原中	22	26	0	5	0	1	4	86.31	85.21	和歌山東南	47	46	0	1	1	2	4	82.89	86.96
美原	9	7	0	0	0	1	4	78.30	81.70	和歌山西	14	12	0	0	1	2	4	100.00	100.00

クラブ	7月1日 会員数		3月末 会員数		月平均 出席率	入会		退会	
	男性	女性	男性	女性		3月	累計	3月	累計
70	1,737	187	1,770	184	85.99	6		15	
	1,924		1,954						

地区行事予定

2016年 5月 青少年奉仕月間			
日	曜日	行事(時間)	会場
17日	火	ガバナー補佐会議18:00～	和歌山県JAビル
18日	水	ワールド大阪懇親会 18:00～	オ・セイリュウ
21日	土	ロータリー財団セミナー・R財団委員長会議	テクスピア大阪 401会議室
22日	日	第21回日本青少年交換研究会・東京会議	国立オリンピック記念青少年総合センター
28日	土	青少年交換 2016-2017年度長期派遣学生のオリエンテーション	りんくう物流センター202.203
		オンツーツウル ジャパンナイト ハヌソ	ハヌソ
29日	日	国際大会	KINTEX
30日	月	国際大会	
31日	火	国際大会	

2016年 6月 ロータリー親睦活動月間 (Rotary Fellowships Month)			
日	曜日	行事(時間)	会場
1日	水	国際大会	KINTEX
4日	土	岸和田東創立40周年記念式典 16:00 祝賀会18:30～	岸和田グランドホール
		2016-2017年度短期交換学生のための最終オリエンテーション14:00-16:00	りんくう物流センター202.203
5日	日	日台ロータリー親善会議	石川県立音楽堂コンサートホール ホテル日航金沢
9日	木	橋本RC 60周年記念式典 12:00～ 祝宴13:00～	橋本カントリークラブ
11日	土	公式訪問 堺利晶RC候補日 情報規定委員会 18:00～	テクスピア大阪 403会議室
12日	日	第34回ローターアクト地区年次大会 14:30～	南海グリル東店3階
13日	月	公式訪問 KUMATORI向日葵RC	グリーンデイサービスセンター
16日	木	公式訪問 泉佐野RC 貝塚RC 貝塚コスモスRC 関西国際空港RC 岸和田RC 岸和田東RC 岸和田南RC りんくう泉佐野RC	岸和田グランドホール
17日	金	2016-2017年度危機管理委員長全国会議 (RIJYEC)	コンベンションルームAP東京 八重洲通り
19日	日	クラブ情報規定委員長会議	ルミエール華月殿 八州の間
25日	土	インターアクト委員顧問会議 青少年交換 2015-2016年度 長期受入学生のための修了証書授与式と送別会	未定 りんくう物流センター202.203
30日	木	日本のロータリー100周年委員会 ビジョン策定特別委員会との意見交換会	ホテルニューオータニ 悠の間

国際ロータリー第2640地区 ガバナー事務所

〒586-0017 大阪府河内長野市古野町 7-42 2F
 TEL 0721-55-2640 FAX 0721-55-2641
 e-mail hidekazu-2640@pure.ocn.ne.jp
 URL <http://rid2640g.com>

【アクセス】

原町北を直進し、本多町交差点を左折、一つ目信号(長野保育園)を右折すると左手すぐに駐車場がありますので、お車はそちらに停めていただき、元の道に戻り直進、次の信号の角の建物の2階が事務所です。(徒歩約3分)

【最寄り駅】

南海高野線 河内長野駅

